

令和5年度 滝野中学校 学校評価（関係者評価）

- 学ぶ意欲と力を高める学習指導では、6項目中、中間評価より5項目の数値が上がっているのは、教職員方が目標に対しての授業のねらいや学び、見直しを意識されての学習と思う。
- 認め合い、高め合う集団づくりでは、中間評価より数値が上がっている。自主自立を育む活動の活性化、また、自分たちの課題を見つけ、生徒の提案による新しい取組ができたのは良い。
- 学習習慣で、生徒の評価は高いが、教師は厳しい評価を付けている。見えにくい世の中を生きていく上で、困難なことでも乗り越える力を教師が身に付けさせようとしているのが分かる。
- いじめ・不登校を生まない居場所づくりでは、生徒の悩みやトラブルの早期発見、早期対応がなされ、不登校傾向にある生徒の居場所の確保ときめ細かな活動が成果につながっている。
- 基本的生活習慣の定着と凡事徹底は、当たり前のことを当たり前でできるか。挨拶・言葉遣い・掃除を徹底して、学校の環境を整えることで、学校生活が楽しくなるように思う。継続してほしい。トライやる・ウィークで生かされた面もある。
- 凡事徹底は企業でも取り入れている所がある。ミスが減ることにつながる。今後も指導を続けてほしい。
- 各項目については、中間評価よりも最終評価が少しずつ上がっていて良かったと思う。アンケートなどを含む全体評価についても、家庭・地域については特に気になる点はなかった。
- 生徒・保護者の意見や要望には、好意的な意見もあるが、不満などが目につき、学校に対し要望が多いことが気になった。以前から続いている問題ではあるが、勉強が嫌い、家庭学習はほとんどしないという子への対処法は先生方も悩まれておられることだと思う。
- トライやる・ウィークの活動記録を拝見させていただいた。どの子もきちんとよくまとめ、楽しく活動できた様子でとても良かったと思う。

- 中学生の事件・事故など多く発生している。学校・保護者・地域の三者一体で守ってやらなくてはいけないと感じている。

- 普段の登下校時の生徒の挨拶だが、男子生徒は大きな声で挨拶してくれる。しかし、女子生徒はこちらから挨拶しても返してくれない。腕章・防犯ジャンパー着用時には挨拶してくれる。やはり子どもたちは、先生・保護者たちには「いい子でいたい」が、知らない地域の方々には敬遠気味である。

- 先生方には、多方面、細部に渡り、計画や実行と常に気を配っていただき、本当に苦勞をかけている。

- 親の教師への見方が変わってきた。昔は親が教師のことを尊敬していた。親が家庭で教師の文句を言うから、子どもたちが教師を見下しているのではないか。

- 社会全体が大きく変わってきている。保護者や子どもも変わってきている。自己中心的で、人のために… というのが減ってきている。教師にとっても難しい状況である。思いやりなどを身に付けることが大切なのに、年々子どもたちが幼くなってきているように思う。

- 地域（外部）評価が、子どもたちのありのままの生活状況がわかるのではないかと思う。地区内での子どもたちの把握も大切だと感じる。

- 10月に地区自主防災訓練を実施した際、防災学習会を開催した前年の滝中1年生の参加を期待していたが、1人の参加もなく、大変残念だった。